

市民には増税や公の使用料値上げ

市長や議員は年収引き上げ!?

9月30日(水)は令和元年度決算を含む9月議会の最終日。今号は一般会計の決算に対する反対理由の一部について報告いたします。

消費税8%から10%の引き上げ

令和元年度は消費税が増税された上、生活保護費の引き下げ、公民館などの部屋の使用料の大幅に値上げされました。

議員の年収3万3千円アップ!

市長は年収7万6千円の、議員は一人平均3万3千円の年収アップを決めました。議員は平成27年から総額、約60万円の年収引き上げです。

少人数学級で

学校も社会的距離の確保を!

コロナ危機の中、学校現場では社

おおぶかわら版



発行：日本共産党
大府市議団
TEL 0562-48-0194
2020年10月4日号
No 1345

大府市パブリックコメント開催中

- ① おおぶ男女共同参画プラン
- ② 大府市多文化共生推進プラン
- ③ 大府市地域強靱化計画
- ④ 第3次大府市環境基本計画
- ⑤ 大府市一般廃棄物処理基本計画
- ⑥ 大府市学校施設庁寿命化計画

★上記の計画について10月末まで市民の意見を聞く取り組みです。内容はHPや公民館で閲覧できます。意見は様式問わずメールやFAXでも受け付けています。

声をあげましょう

会的距離を確保できないまま通常授業が行われています。これまでも増して、感染防止の観点からも、新たなパソコン購入よりも教員を増やし、より丁寧な対面授業の充実が優先されるべきではないでしょうか。



市民によりそう相談業務の強化を!

税の滞納の徴収業務優先よりも、「払えない」「払わない」という市民一人ひとりの生活状況を把握し、滞納とならないための生活の確立のための人員配置、庁内の連携や意識改革を進めていくべきです。徴収する側の立場優先の滞納整理から、滋賀県野洲市が行っている「市民の生活再建型の滞納整理」への転換が必要です。

バス停を25か所減らし市民の生活の足を奪った!

昨年9月のふれあいバスの改正によってバス停を25か所も減らしました。

バスの台数を増やさず、豊明への乗り入れ等の改正を行ったことが主な原因です。

市民の苦情によって令和2年3月にも改正を行い一部のバス停を復活させましたが、時刻表の変更や不便になったことで、利用者の怒りと大混乱を招きました。バスを倍増して、多くのバス停を設置し、誰もが利用できる公共交通にしていくべきです



バス増便の財源の一つとなる

◆大府駅・共和駅間の約3.1kmの間に60億円かけてJR新駅の建設計画を推進することについては白紙に戻すべきです。

◆個人情報の保護の観点から2点について反対の討論を行いました。(次号で報告)

無料法律相談

弁護士が対応します。まずはお電話ください。予約が必要です。お急ぎの方、別途対応します。

開催 10月21日(水) 18時~

久永かずえ市議 090-1758-3521